

街のシルエツト

山口芳光



——吾等の琉球人に贈る

遠い時と歴史が忘れて行つた一廓！

こゝは無人島か骸骨島でもあるか

午顔の咲き乱れた白日と謂ふのに

古い石垣通りには蝙蝠の魂が飛び交ひ

奥入^{おくいりやーじよー}衡門には不思議な青蚊帳が吊られて

昼の悪童の悲しき性交もあると謂ふ

印陀羅の幻図そつくりの

揺曳する妖しい影絵の国だ

ああ 何にかしら祈らねばゐられぬ福樹の

森厳な黙示図絵には

何んと謂ふ赤顔童子の祈^{いのち}雨の火遊びが点じられてあ

るか

ほら 街衢の上の瞋火の干潟を

糸遊の様に瘦せさらぼひて

魂ばかりのひよろ長い姿が

何にか喰ひたい願ひで

駝鳥の様に駈つてゐるではないか

それでも街は昔ながらの午睡の時刻なので

この圏環は今

微風と亡霊の遊歩場なのだ

古い世紀の母よ

古い世紀の父よ

そおして

古い世紀の王様よ

あなた達の偷安の牕^{マド}を開け放つてはいけない

あなた達の創生期よりの夢に

こつそり忍び込み

あなた達を脅かす

宿命の赤顔童子は

ほんとうに饑しいんだ

この白日はほんとうに饑しいんだ

古い世紀の母よ

古い世紀の父よ

そおして

古い世紀の王様よ

遠い世界の七月のミンヌクーも

幻の五月の後世^{くそうはあり}爬龍^りも

青い酒火がチラ／＼誘魂^{うんちやび}する彼岸も

ムシヨウガリした幻の童子コドモの
妖しい喰気には

あなた達の世紀の魔術も又獺が食ふ悪夢に過ぎない
んだ

ああ 饑しい

古い街は饑じがつてゐる

白日は饑じがつてゐる

後註

- 一 「——吾等の琉球人に贈る」は一段階小さな文字

底本：「沖縄文学全集 第1巻 詩※ [#ローマ数字1、1-13-21]」国書刊行会
1991（平成3）年6月6日第1刷

入力：坂本真一

校正：フクポー

2018年2月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。